

# 日本印刷産業連合会

## エグゼクティブ・サマリー

### 1. 印刷産業をめぐる現状（※ PPT 3～4）

- ・印刷産業は「情報価値創造産業」として大きく変貌しています。製造業として技術革新を積極的に推進し、また、新しい領域でのビジネスの創出・ビジネスモデルの提案を積極的に進め、価値ある情報を取り扱う産業として発展しています。
- ・インターネットや携帯電話等のメディアが本格的に普及し、2000年以降、2008年のリーマン・ショックを経て、印刷産業の出荷額は需要減により一貫して低下傾向にあります。

### 2. 低炭素化・省エネ化に係る課題（※ PPT 5）

- ・印刷産業は98.6%が従業者100人未満の中小企業であり、残り1.4%の100人以上の企業という産業構造になっています。また、ほぼ半数（51.0%）の事業所が3人以下の規模であり、経済的負担を要す低炭素・省エネ化に向けた新技術・製造設備の導入には困難性が伴う業界です。

### 3. 自主行動計画および低炭素社会実行計画（※ PPT 6～11）

#### ○自主行動計画

印刷産業の自主行動計画は、参加各企業の事業計画に基づく生産見込み、省エネ努力の継続によるCO<sub>2</sub>排出量の見込みを基礎として、以下のように策定・推進します。

- ・2010年度におけるCO<sub>2</sub>排出量を2005年度比で7.7%削減する。
- ・上記目標は、2008～2012年度の5年間の平均値として達成することとする。
- ・購入電力CO<sub>2</sub>排出原単位の改善(電力自主行動計画：90年度比20%改善)を含む。

2011年度の実績は127万t-CO<sub>2</sub>ですが、これは東日本大震災に伴う電力供給体系の大きな変化による電力の炭素排出係数の大幅な変化によるものです。震災がないと仮定した場合の排出係数を用いると、103万t-CO<sub>2</sub>となり、目標に対し17.3%の削減となります。

#### ○低炭素社会実行計画

2020年度時点の自主行動計画参加企業の売上高32,000億円を前提とし、2010年度の原油換算原単位21.15Kl/億円を年平均1%改善し、2020年度には19.13Kl/億円までの改善を目指し、CO<sub>2</sub>排出量はその炭素排出係数を2010年度と同じとして106万トンから8.5万トン削減し、97.5万トンとすることを目指します。

以 上